

くみ に み

平成23年8月

2011.

8

NO.457

おいしい桃できたよ

JA伊達みらい国見共選場には、連日、農家の皆さんが心を込めて作った甘さたっぷりの桃が届けられています。今年の桃は、特に「甘い」とのことです。

◆ 今月のおもな内容 ◆

特集 農業に投げかけられた波紋……………	2
3年に一度の改選 農業委員会……………	12
ありがとうアレックス先生……………	14
まちのわだい……………	16
保健だより……………	18
くらしの情報……………	20
生涯学習つうしん……………	22

いま、誰ひとり感じとることのできない放射性物質におびえている。
土や草に吸着しているセシウムという見えない物質に不安を抱きながら
私たちは日々の生活を送っている。
また、何代にもわたり、伊達市、桑折町、国見町、川俣町の
それぞれの地で、土とともに生きてきた農家はいま、そのセシウムという
存在に困惑しながら農作業を行わなければならない。
豊作の喜びを思い描きながら、
そして、生産者としての誇りを胸にとり、
農家として当たり前な感情を抱くことが許されない現状に、農家の苦悩は続く。
国が示す安全基準値を下回る農作物までもが風評被害という非情な状況にあっている
現実、今後どのようにして農業を営んでいけばいいのだろうか…。

特集

農業に投げかけられた

波紋

本号の特集は、伊達市、桑折町、国見町、川俣町の合同で構成されています。



なぜ故郷を離れなければ...

政府は、川俣町山木屋地区を4月22日に計画的避難区域に指定、6月30日には伊達市の4地区104地点を特定避難勧奨地点として設定した。放射線の年間積算線量が20^{シーベルト}を超え健康被害の恐れがあるという理由で、長年住み慣れた家を後にするという決断を迫られた。



避難住宅の鍵を持つ手

被害額は未確定

● JA グループの東京電力に対する 農業被害賠償請求額 (福島県)

一次請求額	4億7,700万円
二次請求額	26億1,700万円
三次請求額	52億3,700万円

※一次は主に、「出荷制限による損害」、二次、三次は「警戒区域、計画的避難区域の家畜処分」「出荷制限となった野菜・原乳の損害」「風評被害による農産物の下落」「牛肉の価格下落」などを換算。今後も農畜産物の損害賠償請求は続く。

牛はわが子同然。放射線量が高くても見捨てることは到底できません。ただ経営が苦しい。手間暇かけて育てた栄養価の高い牧草は、放射能によってすべてダメになり、今は毎月約120万円かけて北海道や海外から牧草を取り寄せています。政府には現場を見て一刻も早く補償・賠償をしていただきたいです。



避難しながらも酪農を営む菅野さん一家 (伊達市霊山町石田)

先祖代々受け継がれてきた山木屋の伝統文化が薄れてしまう現状に寂しい思いを抱いていますが、160世帯が暮らすこの仮設住宅を中心に、新しい山木屋の文化を作れないものかと自治会長として思案中です。寄りそって暮らすこの環境からは、いま新たな絆が芽生え始めています。



葉タバコ農家を営んでいた広野さん一家 (川俣町山木屋)

原発事故による農業の環境、営農者の心境

放射能による 作付けへの不安、出荷停止— 今、農業へのダメージは

影響 DAMAGE

一見何も変わらない。
しかし、すべてが変わってしまった。

平成23年3月11日午後2時46分
M9.0 東北地方太平洋沖地震発生

3月11日	東日本大震災により、東京電力福島第一原子力発電所1～3号機の原子炉自動停止。その後、全外部電源を喪失。
3月12日	1号機原子炉建屋で水素爆発。
3月14日	3号機原子炉建屋で水素爆発。
3月15日	2号機で爆発音。4号機で火災発生。
3月18日	原子力安全・保安院が国際評価尺度でレベル5と暫定評価。
4月12日	国際評価尺度で最悪となるレベル7の暫定評価。放射性物質の放出量は37万～63万 ^{ベクレル} と推定。
4月13日	4号機使用済み燃料プールの燃料一部損傷を発表。
4月17日	東京電力が事故収束に6～9カ月の工程表を発表

も食べることを控えるといった世論の流れがある。確かに目に見えないものだけに心配の種は尽きない。

しかし、そのような状況でも、農家は今までと変わらぬ農作業を額に汗して行っている。それは単に農作物を育てるといった作業を行っているだけではない。それぞれの農家がつながりあって農村社会というコミュニティを作り出している。農家という事業体が集まり合い農村を形成し、みんなが力を合わせて農業にいそんでいるのだ。だが、大地と太陽の恵みの伊達地方の農作物が、いま放射能問題という渦の中に飲み込まれようとしている。次々に出された出荷制限や出荷自粛の多くは解除されている現状だが、すべての農家の脳裏にある放射能という現実問題に、収穫時期を迎えるたびに不安が色濃くのしかかってくる。そして、この不安はいつ消え去るのだろうか。...

農業を取り巻く環境がセシウムにより汚染されてしまったいま、農家はどややって生産意欲をつなぎとめていけばいいのだろうか。

代々受け継がれ、そして守り続けられてきた仕事場(農地)を放射能に荒らされてしまった農家の現実的苦悩は続く。

突きつけられた問題

私たちは日々進歩する科学技術の下で生活を送っている。その技術は私たちに快適・便利・豊かさを与えてくれている。しかし、誰もが絶対的な存在だと信じていたその科学技術は、自然の猛威にも打ち勝つ強靱なものではなかった。

あつてはならない東京電力福島第一原子力発電所の事故により、おびただしい量の放射性物質が空から降りそそぎ、いま私たちは、見えない恐怖におびえながら暮らさなければならぬ。

また、川俣町山木屋地区の計画的避難区域、伊達市の一部地区への特定避難勧奨地点の設定が政府から示され、ふるさとの地を離れて暮らさなければならぬという、誰も想像していなかった非常な現実と直面することとなってしまった。

汚染された大地

我々の生命の源である食に対して、大きな不安を抱えながらの生活を余儀なくされている。「内部被ばく」という恐怖心が先立ち、国が示す安全基準を下回る農産物に対して



息子と共に安全安心な地場産農作物を

震 災後、電話が来なくなりました。例年であれば、関東地方から贈答用のサクラソボの注文がかなりあるのですが、今年はゼロ。

「自分の土地がどれほど汚染されているのか」「作っても売れるのか」と、悩みはつきません。一度はもうやめようと思いましたが、でも、私には後継者ができたから……。息子の未来のためにも頑張ろうと思えました。これからは家族みんなでこの家で暮らしていきたいので、今はやるしかないです。

父 は考えすぎるタイプですが、僕は「落ち込んでいてもしょうがない」と、わりと切り替えが早いタイプなので、親子でいいバランス



トマト・サクラソボ農家
長沢雄一さん（伊達市）
佑磨さん

が取れてるのだと思います。僕は、日本の野菜は外国産よりも味・質・外見において優れていると思います。震災前は国産・地場産を選ぶ人が多かったと思いますが、いまスーパーに行くとも外国産ばかり。なんだか悲しくてしかたありません。食は人間にとってなくてはならないものだから、消費者の皆さんに安心して食べてもらい、外国産にはまねできないおいしい野菜を作っていきたいです。



良質米の産地を守り続けたい

米 の場合、田植えの時期が遅れ、収穫までも遅れる心配をしたけど、この時期になって生育は順調になっています。「何とかこのまま秋の収穫を迎えたい」と願うばかりです。



稲作農家
朽木勝之さん（国見町）

から良質のおいしい米が収穫され、全国から高い評価を受けています。「この良質米の産地を守っていきたい」。自分たちは、いつでも消費者のもとにおいしい米を届けたいという思いで農作業を頑張っています。農作物の風評被害は、報道の影響が大きいと感じています。原発事故による被害のことばかりでなく、自分たち農家が頑張っているところをもっと大きく報道してもらいたいです。

それでも負けない伊達地方の生産者

農家の声、それぞれの思い

苦悩

WORRY

生産者・消費者に広がる不安。命の源“食”への信頼回復の道。

より高品質のものを消費者へ届けたい



天 候にも恵まれ、今年の桃の出来はいいですね。でも、皮肉なことに、今年は放射能という過去に経験したことのない被害が、私たちの生活を一変させました。どこまで風評被害が及ぶのか、見当が付きません。

4月には、生産者同士で「今後どうしたらいいのか」と、とても悩みました。生産意欲がわきませんでした。しかし、ここまで先人が築いてきた桑折の桃のブランドを、汚すことはできないと思いました。そこで、「例年よりも良い桃を、今まで以上に手をかけて作るう」と、みんなで意識を統一して桃作りに専念しました。

そのかいあって、18年連続



桃農家
蓬田幸夫さん（桑折町）

で今年も献上桃に選ばれました。生産者にとって、励みとなる出来事でした。私たち生産者がいまでできることは、安全・安心で、よりおいしいものを作ること。くだもの本来の味を追求し、消費者へ届けることです。風評被害はゼロではありません。こんな時代だからこそ、私たち農家は夢を抱き、希望の持てる農業を目指して、歩んでいかなければいけないと思います。

本物を食べる農家の喜びを取り戻す



農 家には、農産物を作る楽しさ、収穫する楽しさ、それを食べる楽しさがあります。原子力災害はその全てを我々から奪ってしまいました。いつもの時期なら農機具の音があちらこちらから聞こえるはずの山木屋ですが、静寂の中に風の音しか聞こえない現状に、胸が詰まる思いです。田んぼや畑も野原のように草が生い茂ってしまっています。しかし、また山木屋の大地に以前のように種をまきたいという気持ちは、全ての山木屋の農家が強く心に持ち続けています。その思いに1日も早く近づけられるよう、6月下旬に私の畑を実験農場として提供し、ケナフなど3種類の作物の種をまきました。



大豆農家
菅野源勝さん（川俣町）

国家プロジェクトとして今後、土壌からの放射性セシウムの吸収率調査を行っていくという事です。そのまいた種はとも小さな小さなものですが、山木屋の農家の思いがぎゅっと詰まった種であり、新しい未来を切り開く道しるべとなるものと確信しています。鍋を火にかけ、畑に行って採りたての野菜を調理する光景が、そして、本当の山木屋に戻るその日まで私たちは頑張ります。

★Pick up



二本松農園 代表兼総務企画部長 齊藤 登さん

観光関係の仕事を辞め、家業のキュウリ農家を2年前に継ぐ。現在、奇抜な発想で福島



←二本松農園のHPを開くと「がんばります！福島の農業！」がまず目に飛び込んでくる。 www.farm-n.jp

二本松農園の挑戦にクローズアップ

NOBORU SAITO

お問い合わせ 二本松農園 Tel. 0243-24-1001

農業へのこだわりが最大の武器

「売れないのではなく、売っていないだけ」と話す齊藤さんは、首都圏の現状を目の当たりにし、それなら自分から新鮮な農産物を売り込んでいこうと、もともと稼働中だったインターネットによる宅配システムの実現を画った。品揃えを増やすため会員農家を募り、現在会員数26人(随時募集集中)。こだわり農家が作

る安全・安心な農産物はもちろん、農産加工品などの多くの品揃えに、全国47都道府県から注文があり、その反響は齊藤さんの予想をはるかに超えた。また、より多くのお客様とつながりを得たいと、週2回首都圏へ販売に出かける。行政などが主催するイベントはもちろんのこと、住宅街を移動販売するなど、精力的

に展開している。齊藤さんに今後の抱負を伺うと、「首都圏に福島の農産物専門小売店を出したいですね。名付けて“チャレンジショップ”。その夢に向かって、こだわりの福島ブランドをより多くの皆さんに知ってもらいたいと思います」と笑顔で話していた。



写真はイメージです

挑戦 CHALLENGE

「何をやってもしょうがない」—そんなあきらめを克服し地域が動き出している。今こそ危機を転機に。



ゆるがめ地域を農業から

いま一步、またもう一步

3



↑平成22年の献上桃選果式の様子(桑折町)

野菜をケーキに、お寿司に 可能性は無限大

★interview

日本で唯一の野菜スイーツ専門店(東京)ポタジエオーナーシェフ 柿沢 安耶さん



野菜は、多くの可能性を秘めています。お菓子にすると▶野菜が食べやすくなる▶形が悪くても使える▶添加物なしでキレイな色が出る▶カロリーが低く太りにくいなどメリットはたくさん。最近はお菓子だけでなく、野菜のお寿司も始めました。この苦難は、福島の農産物の魅力をPRできるチャンスでもあると思います。



7月6日、伊達市で野菜パティシエによる講演会と地場産品への指導・提案が行われ、その斬新な話に農家や婦人会の視線を引き付けた。上の写真はミニトマトのショートケーキ。



県外の声 小笠原聖子さん(静岡県) 「強い気持ちで」

県内の声 矢森 徹郎さん(猪苗代町) 「力を合わせて」

伊達の声 安田 節子さん(国見町) 「笑顔で農業を」

昨年、桑折産の桃を初めて、家族で食べました。農家の方が丹精込めて作っている様子が伝わってくるようなおいしさでした。原発による風評被害に負けないで、また私たちにおいしい桃を届けてください。

妻が川俣町出身なので、年数回は川俣町を訪れます。おかげで今はすっかり川俣シャモのファンです。養鶏農家の皆さんも、風評被害などで大変苦労していると思いますが、一緒に頑張っていきましょう。

伊達地方の米や新鮮な野菜、果物は、とってもおいしいです。震災、風評被害に負けることなく笑顔でこの大事な時期を乗り切ってください。小さなことからコツコツと、笑顔がなくならないことを願っています。



↑風評被害を打破しようとして北海道や東京、神奈川など各地で特産品を即売した。伊達市ではサクランボを販売。購入した人の中には東北から移住した人もおり「故郷への思いは変わらない。応援しています」と力強く語った。

みんなの応援を大きな力に

もともと伊達地方の風土は、おいしい農作物を育てるのに適している。しかし、放射能汚染により、伊達地方は一転して農業に厳しい環境となった。「飼育ができない」「農作物を作れない」「作ったとしても果たして...」。農家の人々は、経験したことのない苦境に立たされてしまった。でも。 上を向いてみよう。全国の人が応援している。同じ農業の仲間や地元の人にも応援している。子どもたちだって応援してくれている。国見町の子どもたちが書いた復興を願うメッセージ。その多くには、桃やサクランボの絵が一緒に描かれている。子どもたちの素直な表現からも、農業を応援しようという気持ちが伝わってくる。 伊達地方では、放射能問題を克服しない限り、農業を続けていくことは難しいのが現状。待っている、何も解決しない。何事も挑戦。自慢の農作物を「おいしい」と言って待っていてくれる人々のためにも。伊達地方の農家は、みんなの応援を大きな力にして、放射能問題を克服するため、挑戦への道を歩み始めた。



←国見町の子どもたちの応援メッセージ。子どもたちの素直な言葉は、忘れかけていた大事なことを思い返させる。

再生の種をまこう

だからこそ、生産の歩みを止めてはいけない。
再生への道は、農家とそれを支える消費者が切り開いていく。
一歩、そしてまた一歩……。

それが再生へとつながる種となり、
未来へと続く道をつくる。

消費者からの「おいしかったよ。ありがとう」の声が、
農家にとって一番の励みだ。

「今度は私たちが、農家の人が育てた農産物を買って
応援します。負けないで、頑張ってください」
とエールを送った。

福島県産の農産物を買った東京の買い物客は、
「今度は私たちが、農家の人が育てた農産物を買って
応援します。負けないで、頑張ってください」
とエールを送った。

私たちの食は農家の人によって支えられている。
その農家の皆さんが丹精込めて作り上げた「地元産」を
これからも大切に頂いて、残していきたい。

農業とは、土を作り、種をまき、芽が出て、育て、収穫する。
手間暇かければかけるほど、いい作物ができる。
そのさまは、まるで人生みたいなものだ。

農作物は自然からの贈り物。
だが、その母なる自然が放射能汚染の危機にさらされている。
しかし、この現実からは決して逃れることはできない。



3年に一度の改選

―農業委員会― 会長に朽木勝之委員

国見町農業委員会は7月22日、一般選挙により選ばれた10名（7月10日執行の選挙において無投票による当選）と町長が選任する4名（JA伊達みらい、県北農業共済組合、伊達西根堰土地改良区、町議会から1人ずつ推薦）の14名による初めての総会を開催しました。総会では、会長に朽木勝之委員、会長職務代理者に村上正勝委員（両者とも再任）を指名推薦で互選しました。



朽木勝之 会長



村上正勝 会長職務代理者

農業委員会は、農地の貸し借りや売買の審査・許可、町の農業施策への建議・答申などの業務の他、食料自給率の向上、農地の集積、耕作放棄地の解消など、差し迫った農業問題に取り組む行政委員会です。委員は、特別地方公務員としての身分を有します。朽木会長は就任のあいさつで、「今、農業は待ったなしの課題が山積しています。これからの3年間、決意を新たに国見町の農政発展に邁進して参りたい」と述べました。

委員の担当地区

秦 二三男	1期公選	駅前、錦町、大町南、大町北、本町、宮町南、宮町北、藤田宮前、藤田光陽
佐久間利信	2期土地改良区推薦	町東、宮東、鶉町
菊地 顯一	3期公選	上野、石母田東、石母田表、石母田北、石母田原、石母田西
八島 富一	2期農協推薦	山崎北、滝山、小林、山崎館、山崎小館、山崎宮館、山崎沢田、宮前、源宗山東、源宗山西、源宗山北、大坂、山崎耕谷
朽木 勝之	8期公選	小坂、前田、板橋、板橋南、鳥取
仲野 博行	1期公選	太田川、泉田上、泉田中
黒田 武	3期共済推薦	泉田下、内谷西、内谷東
斎藤 一郎	1期公選	第1、第2、第3、第4
佐藤 浩信	1期公選	徳江北、第7、第8、第9
村上 正勝	5期公選	第10、第11、第12
渋谷 福重	3期議会推薦	貝田、光明寺
志村 孝明	1期公選	高城
松浦 万助	3期公選	大木戸、山根
玉手 忠七	3期公選	原町、築館、並柳、中部、北部、川内

農業委員が担当する地区です。農地の相談は、地区の農業委員または農業委員会事務局へお問い合わせください。 ◆問い合わせ 国見町農業委員会事務局 ☎ 585-2890

退任委員へ感謝状

総会に先立ち、退任される5名の委員に、佐藤町長より感謝状が手渡されました。

退任委員を代表して黒田勝夫さんが、「農業者の高齢化や原発事故による風評被害など多くの問題がありますが、新しい委員の皆さんは、困難に負けずに農業委員として活躍していただきたい」と退任のあいさつを述べました。



感謝状を受け取る退任委員

- 退任委員（敬称略）
- 黒田 勝夫（4期）
- 高橋 豊壽（3期）
- 佐久間敏雄（2期）
- 松浦 新一（2期）
- 八島 義信（1期）

教職員の異動



震災により延期されていましたが、7月31日付けで13名の方が転出されました。また、8月1日付けで新たに7名の方が着任されました。

※敬称略（ ）は、転出者は新任校、転入者は前任校です。

- 小坂小
転出 校長：本間 貞二（福島市立東湯野小学校）
教諭：石澤 敏恵（伊達市立月舘小学校）
転入 校長：菅野 光廣（伊達市立大石小学校）
- 藤田小
転出 教頭：今井 孝典（福島市立矢野目小学校）
教諭：会田 幸子（伊達市立栗野小学校）
教諭：大瀧 重直（福島市立大久保小学校）
教諭：遠藤真理子（伊達市立大田小学校）
転入 教頭：伊藤久美子（三春町立中妻小学校）
教諭：衆名 登（伊達市立保原小学校）
教諭：佐藤友佳子（大木戸小学校）
- 森江野小
転出 教諭：佐藤 由美（二本松市立岳下小学校）
- 大木戸小
転出 教諭：菊田 尚（伊達市立上保原小学校）
教諭：佐藤友佳子（藤田小学校）
- 大枝小
転出 校長：山内 寿一（猪苗代町立緑小学校）
教諭：柳沼美恵子（伊達市立梁川小学校）
転入 校長：鈴木 昭夫（西会津町立奥川小学校）
- 県北中
転出 教諭：高橋 信之（伊達市立松陽中学校）
鳴原 恵子（桑折町立醸芳中学校）
鈴木由美子（福島市立野田中学校）
転入 教諭：信夫 知彰（いわき市立植田中学校）
教諭：伊藤みな子（伊達市立伊達中学校）
副主査：小野 朋恵（棚倉町立棚倉小学校）
退職 主査：松浦 峯子（3月31日付）

敬老会

今年は 式典を中止

します

毎年、9月の敬老の日に合わせて町内5地区で開催しています敬老会の式典は、東日本大震災の影響により中止することとなりました。

高齢者記念品などは、直接対象となる方へお届けすることとします。

皆さまのご理解のほどよろしくお願いいたします。

◆問い合わせ 保健福祉課長寿介護係 ☎ 585-2125

開催決定！

国見町義経まつり

◆期日 9月23日（金・祝日）

◆会場 上野台運動公園

東日本大震災の影響により開催について検討されてきました「国見町義経まつり」ですが、第1回目の実行委員会が7月21日、観月台文化センターで開かれ、開催日をこれまでどおり9月23日（くにみの日）とすることと会場を上野台運動公園として開催することを決定しました。また、実行委員長には、町内会長連絡協議会会長の松浦常雄さんが選出されました。

今年は震災の影響により、騎馬による武者行列を行わず、屋内のステージイベントや小学生の鼓笛演奏を中心としたものとする事も合わせて協議されました。今後、詳しい内容が決まりましたら回覧やチラシなどにより皆様にお知らせしていきます。

◆問い合わせ 国見町義経まつり実行委員会事務局（国見町役場企画情報課） ☎ 585-2927

笑顔のひろば

「笑顔のひろば」では、保育所・季節保育所・幼稚園・小学校・中学校の話題を紹介します。

友達がたくさん できた 夏の交流



小坂小学校の5年生6名は7月1日、2日の2日間、静岡県浜松市立西気賀小学校を訪れ、夏の交流を楽しみました。

西気賀小学校の児童とは、1年生の時から文通により交流を続け、5年生の時にお互いに初めて顔を合わせる事となっているため、今回の交流で実際に会い友情を深めることができました。

「西気賀交流」

小坂小 5年 奥村七海
楽しみにしていた西気賀交流が、7月1、2日に行われました。藤田駅での出発式には、多くの方が見送りに来てくださったので、うれしく思いました。

電車や新幹線、バスを乗り継いで、西気賀小へ行きました。西気賀小では、全校生がウェーブで迎えてくれました。

出合いの集会の後、プールに入りました。今年は地震でプールに入っていないので、とてもうれしかったし、西気賀の友達とすぐに仲良くなれたので良かったです。

その後、カニつりをしました。全然つれなくて、手でつかんで捕りました。

夜は、バスケットをしている人と同じ部屋になったので、たくさん話して盛り上がり、楽しく過ごしました。

2日目は海の活動で、和船とカヌー、バナナボートなどに乗りました。バナナボートでは、絶対に落ちないぞとがんばりましたが、最後に落ちてしまいました。浜名湖の水は、とてもしょっぱかったです。

今年は、外で遊ぶことがあまりなかったので、久しぶりに外で遊ぶことができ、友達もたくさんできたので、すごく、すごく楽しかったです。

冬の交流では、私たちが盛り上げる番なので、がんばりたいです。

部活動に励んだ県中生の活躍

震災の影響により中体連の伊達支部大会が中止となったため、今年は県北大会からとなりました。初戦から福島市内の強豪校と対戦することとなった種目もありましたが、出場した選手はみんなが最後まであきらめずに頑張りました。

また、吹奏楽部も運動部に負けず頑張りを見せ、県大会出場を決めました。

●中体連県北大会●

- ・バレーボール (男子) 第3位
- ・ソフトテニス (女子)
個人 ベスト8 岡田結愛・岡田稚葉
五十嵐真結・五十嵐温子
- ・卓球 (男子) ベスト8
- ・卓球 (女子)
個人 ダブルス ベスト8 井上藍・佐藤千紘
- ・柔道 (女子) 団体戦 優勝
個人 体重別 優勝 長谷川聖華、木崎優希

●吹奏楽県北大会●

- ・吹奏楽部 中学校2部 金賞



吹奏楽部 (7月24日に開催した定期演奏会)



県大会に個人戦で出場
ソフトテニス (女子)



県大会に個人戦と団体戦
で出場 柔道部 (女子)

国見町の皆さんへ

For three years I taught English at Kenpoku JHS, Morieno ES, Fujita ES, Kosaka ES and Okido ES. The students were always energetic so teaching English was fun.

3年間県北中学校と森江野小学校と藤田小学校と小坂小学校と大木戸小学校で英語を教えました。生徒たちはいつもすごく元気だから、いつも英語を勉強して楽しかったです。

I have learned many things about Japan, Japanese people, and Japanese culture since coming here. Please travel, if you have the chance. You'll experience many new things if you meet people from all over the world.

日本に来てから日本や日本人、日本の文化についてたくさん学びました。これからも学びつづけます。もし機会があったらいろいろな所に旅行して下さい。世界中の人々に会えば皆さんの新しいことを経験するでしょう。

Kunimi Town is a wonderful town. Everyone here is kind and I feel lucky to have lived here for three years. Kunimi has become my home. I definitely won't forget Kunimi. Everyone here is wonderful, and I am happy to have met them.

国見町は、ほんとうにすばらしい町だと思います。皆さんはとても優しく、3年間国見町に住んだことはとても幸運に思います。国見町に3年間住んで、ここは、私のふるさとなりました。国見町をぜったい忘れません。皆さんに会えてとてもうれしかったです。

I am sad that July is my last month in Kunimi. On August 1st I am going to return to Scotland for 6 months. After New Year my fiancée and I want to teach English in Vietnam.

7月で最後なので悲しいです。8月1日スコットランドに帰ります。6ヶ月間ぐらゐスコットランドにいます。正月の後に、私はフィアンセとベトナムへ英語を教えに行きたいです。

Everyone, thank you.

皆さん、私に親切にしてくれて、どうもありがとうございました。

ありがとう アレックス先生

国見町内の小・中学校で英語を指導してきました英語指導助手のアレックス先生(アレクサンダー ウィッターズ ウィリアム ニールさん)が、7月27日で3年間の任期満了となりました。

アレックス先生は、小・中学生に対していつも楽しく英語を指導してくれました。また、スコットランドのさまざまな文化も教えてくれました。

国見町の小・中学生にとって、アレックス先生と過ごした日々は、学校生活の楽しい思い出の一つとなりました。



全国大会での活躍に期待 出場する選手に奨励金



○剣道
佑武館のみなさん

東京、日本武道館で7月26日に開催される全日本少年剣道錬成大会に佑武館で稽古に励む小学生が参加します。選手を代表して赤井畑謙くん（藤田小6年）が、「震災に負けずに優勝目指して頑張ります」と力強く目標を話しました。



○ソフトテニス
高橋慶気さん

東京、有明テニスの森公園で8月8日から開催される全国高等学校定時制通信制ソフトテニス大会に参加します。目標は全国制覇と話してくれました。



○ソフトボール
蓬田起代子さん

愛媛県で開催された全日本クラブ女子ソフトボール大会に東北地区代表の「TACHIBANA CLUB」の選手（左翼手）として出場しました。

交通事故に気をつけよう 高齢者への交通安全街頭啓発



国見町交通対策協議会（会長：佐藤力町長）による高齢者への交通安全街頭啓発活動が7月22日、公立藤田総合病院正面入口前で行われました。この日は、交通安全協会や交通安全母の会、シルバー交通安全推進隊などから約15名が参加したほか、福島北警察署員の応援も得て、交通安全を呼びかけました。今年も、交通安全運動期間中、国見町内での交通事故は1件も発生しませんでした。

仲間の声援を受けてプレー 寿クラブレディース球技大会



寿クラブ連合会女性部（宍戸光子部長）主催による第18回レディース球技大会が7月27日、観月台文化センター体育館で開かれました。町内の10単位から約80名が参加した大会では、「ストライクボーリング」「スロットボール」「輪投げ」の3種目で競い合いました。成績は次のとおりです。
▶優勝…塚野目福寿会 ▶準優勝…川内長楽会
▶第3位…第一藤田長寿会

下水処理場の汚泥処分を要望 民主党岡田幹事長が来町



民主党岡田幹事長が7月24日、徳江地内の下水処理場（県北浄化センター）を視察しました。下水処理場から発生する汚泥には、放射性物質が含まれていることから、最終処分場に搬出できず、敷地内の仮設テント内に保管されています。汚泥からは、悪臭が発生するため、町として早急に搬出の処分を要望しました。この日は、公務出張中の佐藤町長に代わり、須田副町長が岡田幹事長に早急な対応を要望しました。

積極的に意見を交換 教育環境に関する懇談会



国見町PTA連絡協議会（赤井畑直明会長）主催による国見町の教育環境に関する懇談会が7月13日、県北中学校の体育館で開かれました。約100人が出席して行われた懇談会では、佐藤町長よりこれまで町が行ってきた放射線対策についての説明があり、その後保護者から教育環境に関する意見や要望が出されました。また、最後に赤井畑会長が、教室へのエアコン設置を要望する町民の署名用紙を佐藤町長に手渡しました。

週に一度情報交換の場 仮設住宅でサロン



駅前と上野台に建設された仮設住宅では、週に一度サロンが開かれ、入居されている方々の情報交換の場となっています。仮設住宅でのサロンは、入居されている方々が自宅で閉じこもりがちになることを防ぐことや震災による心のケアなどを目的に社会福祉協議会の呼び掛けにより行われています。上野台の仮設住宅には、飯舘村から避難されている方も多く、サロンに集まり話をすることで心を和ませていました。

子どもたちを放射線から守る 藤田保育所で保護者による除染



藤田保育所の保護者会では7月17日の早朝、藤田保育所内の遊具や建物の壁面などの除染作業を実施しました。放射性物質を少しでも取り除き、子どもたちが安心して外で遊ぶことができるよう参加者は、高圧洗浄機で洗い流した後、雑巾で丁寧にふき取っていました。子どものことを思い、保護者の皆さんは真夏の太陽のもと、一生懸命に取り組んでいました。

日本脳炎予防接種のお知らせ

平成 17 年度から平成 21 年度にかけての日本脳炎の予防接種の積極的勧奨の差し控えにより、接種を受ける機会を逃した平成 7 年 6 月 1 日から平成 19 年 4 月 1 日生まれの方について、特例措置により次のとおり接種時期が緩和され、公費負担での接種が可能となりました。

- ◆対象者 平成 7 年 6 月 1 日から平成 19 年 4 月 1 日までの間に生まれた方
- ◆接種期間 対象者が 20 歳未満までの間（ただし、第 2 期は 9 歳以上にならないと接種できません。）
- ◆接種回数と接種間隔（1 期・2 期合計 4 回で完了。母子健康手帳で不足分を確認してください。）

接種状況	1 期接種方法	2 期接種方法	備考
未接種（0 回）	6 日から 28 日までの間隔において 2 回接種。 おおむね 1 年経過後に 1 回接種する。	9 歳以上であれば、1 期完了後 6 日以上の間隔をおいて 1 回接種。 2 期の接種は「積極的接種勧奨差し控え」の取り扱いが継続しています。希望があれば接種できますので、接種医とご相談ください。	2 期の接種は「積極的接種勧奨差し控え」の取り扱いが継続しています。希望があれば接種できますので、接種医とご相談ください。
1 回接種済	6 日以上の間隔において 2 回接種。 ※前の接種から 6 日以上の間隔をおくこと。		
2 回接種済	1 回接種 ※前の接種から 6 日以上の間隔をおくこと。		
3 回接種済	1 期接種完了。2 期になります。		

◆接種方法 県内の指定医療機関（主に小児科、内科の医療機関）にて個別接種（必ず医療機関に予約が必要です。）

◆持参する物 ・ 予診票（予診票がない方は、母子健康手帳を準備のうえ、保健福祉課にまずお問合わせください。）
・ 母子健康手帳

◆日本脳炎の第 1 期接種（初回 2 回及び追加 1 回）の標準的な年齢である、満 3 歳・4 歳になられるお子さんは、通常の定期接種として受けられます。



麻しん風しん 混合予防接種を受けましょう!!

麻しん風しん混合予防接種はお済ですか。予防接種施行令の一部が改正され、平成 20 年度から 5 年間に限り、第 3 期（中学 1 年生に相当する年齢の方）、第 4 期（高校 3 年生に相当する方）として新たに麻しん風しん予防接種が定期予防接種として追加されました。対象者の方には個別におたよりをお送りしましたが、まだ接種していない方は早めに受けられますようお勧めいたします。

※第 2 期対象者（平成 17 年 4 月 2 日～平成 18 年 4 月 1 日生まれ）で、まだ接種されていない方も 早めに受けるようにしましょう。いずれも平成 24 年 3 月 31 日を過ぎると定期接種対象外となり 接種費用が発生しますのでご注意ください。

健康手帳の交付

健康手帳は、成人の各種健（検）診結果等を記入し、健康管理のために活用するものです。

交付の対象となるのは、健康増進法に基づき 40 歳（昭和 47 年 4 月 1 日以前生）以上の方です。交付を希望される方は保健福祉課保健係へお問い合わせのうえ、お越しください。

いのちを救う 愛の献血にご協力を!!

9 月 1 日（木）、9 月 23 日（金）は、国見町の献血の日です。多くの方のご協力をお願いします。



（白虎隊けんけつちゃん）

	【場 所】	【受付時間】
9/1 (木)	国見製菓株前	9:00 ~ 10:00
	株東京エンゼル本社 福島工場前	10:45 ~ 11:45
	生活協同組合コープ福島 コープマーケット国見店前	13:30 ~ 17:00
9/23 (金)	上野台運動公園グリーンアリーナ駐車場 (義経まつりのイベント広場内で実施します)	10:00 ~ 15:00 (12:00 ~ 13:00 は休憩時間)

*** 育 児 教 室 ***

該 当 児	実 施 日	受 付 時 間	会 場
平成 23 年 3 月～4 月生まれの乳児	10 月 11 日（火）	午前 9 時 30 分～ 午前 9 時 45 分	観月台文化センター 第 1 和室

【健診内容】身長・体重測定、離乳食調理実習・試食、子育て相談など
《持参するもの》母子健康手帳、エプロン、おんぶひもを忘れずに！

*** ニコニコ相談会 ***

対 象 者	実 施 日	実 施 時 間	会 場
国見町在住の妊婦 国見町在住の乳幼児及びその保護者	10 月 5 日（水）	午前 10 時～ 午前 11 時 30 分	子育て支援センター (藤田保育所内)

【実施内容】身体計測、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしております。
《持参するもの》母子健康手帳、お子さんの飲み物（水筒にいれて）を忘れずに！
《申し込み方法》前日まで保健福祉課または藤田保育所（☎ 585-2374）に電話でお申し込みください。

*** 乳 児 健 診 ***

該 当 児	実 施 日	受 付 時 間	会 場
・ 3 か月児（平成 23 年 6 月生まれ） ・ 9 か月児（平成 22 年 12 月生まれ）	10 月 27 日（木）	午後 1 時 15 分～ 午後 1 時 45 分	観月台文化センター 第 1 和室

【健診内容】医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、予防接種などについて
《持参するもの》母子健康手帳を忘れずに！

*** ポリオ集団予防接種 ***

実 施 日	対 象 乳 幼 児	受 付 時 間	会 場
10 月 12 日（水） ----- 10 月 19 日（水）	実施日に満 3 カ月から 90 月未満までの 1 回もしくは 2 回未投与の乳幼児	午後 1 時 15 分～ 午後 1 時 45 分	観月台文化センター 第 1 和室

※注意すること…6 週間以上の間隔で 2 回投与します。（2 日間の内、どちらか都合の良い日においでください。）
《持参するもの》ポリオの予防接種予診票を記入し、母子健康手帳と一緒に持ちこたください。

くらしの 情報

お知らせ

（特別）児童扶養手当を「ご存じですか？」

児童扶養手当は離婚等により、父又は母親のいない児童（18歳到達後最初の3月31日まで）を養育している母又は父親、あるいは父母に代わり養育している方に支給されます。

特別児童扶養手当は、身体または精神に中度・重度の障がいを持つ児童（20歳未満）を監護している父・母、またはこれに代わって養育している方に支給されます。

（特別）児童扶養手当は請求者本人および同一世帯の家族の方に一定額の所得がある場合は受給できません。詳しくは保健福祉課社会福祉係まで、お問い合わせください。

●**現況届を忘れずに**
8月は児童扶養手当現況届および特別児童扶養手当所得状況届の提出月です。

受給（対象）者の方には通知をしていますので、忘れずに提出してください。

◆お問い合わせ
保健福祉課社会福祉係
☎585-2793

高齢者・障害者の 人権あんしん相談

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、9月5日（月）から9月11日（日）までの7日間、全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間として、身体的・心理的虐待や差別、いやがらせなど高齢者・障害者の抱える人権問題について、電話相談を実施します。相談は、人権擁護委員及び法務局職員が応じます。秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

▼期間 9月5日（月）から11日（日）までの7日間
▼時間 午前8時30分から午後7時まで
（ただし、9月10日（土）・11日（日）は午前10時から午後5時まで）

▼電話番号 0570-03110
なお、強化週間の期間以外の日（土・日・祝日を除く）においても、午前8時から午後5時15分まで、相談に応じていますので、ご利用ください。

◆お問い合わせ
福島地方務局人権擁護課
☎534-1994

ふくしまっ子 夏の体験活動応援事業

福島県と福島県教育委員会では、東日本大震災により、子どもたちが屋外で十分活動できる環境が少なく、なっていることから、夏休みなどに心身ともに伸び伸びと自然体験活動などができる機会を提供します。

▼実施期間 9月末日まで
▼参加対象 原則として幼児・小中学生（特別支援学校も含む）を中心とした団体（学校、公民館、PTA、スポーツ少年団、子ども会（育成会）、社会教育団体など）
▼参加規程 ①子どもの参

農業委員会 総会の日程

町農業委員会の総会では、農地の賃貸借や売買、転用、農業行政への建議等を審議します。総会は公開です。傍聴を希望される方は、開会時間までにおいでください。

・日時 8月22日（月）午後1時30分
9月20日（火）午後1時30分
・場所 観月台文化センター 大研修室
◆お問い合わせ 農業委員会 ☎585-2890

納税

固定資産税（第2期）
国民健康保険税（第2期）
後期高齢者医療保険料（第1期）
介護保険料（第2期）
納期限は…
8月31日（水）です。

放射能に関する情報

○福島第一原子力発電所事故に伴う食品の摂取及び出荷制限
8月1日現在、国見町で栽培されているもので摂取や出荷を控えるよう要請されている品目はありません。
ただし、牛については、と畜場への出荷が制限されています。

○飲料水（水道水）の放射性物質モニタリング検査結果
8月1日現在、国見町上水道、泉田・泉田下簡易水道（民営）では、放射性ヨウ素、放射性セシウムともに検出されていません。
※国見町内の各地の放射線量率を町のホームページでお知らせしています。毎週木曜日に更新しています。

どで確認してください。）に連絡し、活動内容などのコーディネートを依頼してください。

◆問い合わせ
福島県教育庁社会教育課
☎521-7799

被災地域で働いていた皆様のために、相談と申請の受付を行っていますので該当される方はお問い合わせください。なお、申請期間は、退職してから6月となっています。

◆問い合わせ
福島労働局未払賃金立替払い支援センター
☎521-3229

【障がい者相談】

・開催日 20日（火）
・場所 観月台文化センター 保健指導室
・時間 午前10時～午後4時
・相談事業受託者 特定非営利法人 福島・伊達精神障害者福祉会「ひびきの会」

東日本大震災により、勤めていた企業（原則として中小企業）が被害を受けたことにより、倒産状態になり賃金が支払われなかった方に対し、国が企業に代わって未払の賃金を支払（立替払）する制度があります。

交通事故無料相談を ご利用ください

交通事故により、その問題解決にお困りの方のために、（社）日本損害保険協会では、無料で相談を受付けています。また、月に2回は

◆お問い合わせ
（社）日本損害保険協会東北支部 郡山自動車保険請求相談センター
☎024-933-4850

【心配ごと相談】

・開催日及び相談員
8日（木） 蓬田ゆみ子さん 後藤 清一さん
22日（木） 松浦 文子さん 山崎 岩雄さん
・場所 観月台文化センター 第2和室
・時間 午前9時～正午

9月の相談会



スイカ割り（藤田保育所）

戸籍の窓口

7月1日～7月20日受付分

誕生おめでとう

安藤 千紗ちゃん（前田）
陽介さん 満寿美さん

おくやみ申し上げます

菊池 すいさん 96（山根）
高原キクヨさん 87（小坂）
渡邊キクイさん 91（泉田下）
古川アキヨさん 88（宮町北）

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

交通事故発生状況 1月～7月

	管内	国見
人身事故件数	29	7
死者	0	0
傷者	35	8

人口と世帯

平成23年6月30日現在
人口 10,227人（△20）
男 4,939人（△4）
女 5,288人（△16）
世帯 3,347世帯（△1）

※広報紙では住民基本台帳人口を掲載しています。なお、今月号は発行日の都合上、7月号と同じ数値となっています。

沢木 順 復興支援コンサート

～聞いて・歌って・楽しんで・
元気になろう!! 音楽の力で～
沢木順と舞台で一緒に歌いましょう!!

日時 9月11日(日)
開演 午後2時00分
開場 午後1時15分
入場料 無料(全席自由)
会場 観月台文化センター 体育館
※上履きご持参ください。
主催 沢木順コンサート実行委員会
共催 国見町、国見町教育委員会
◆問い合わせ
沢木順コンサート実行委員会
代表 阿部 ☎585-2648



新緑の五色沼を散策

「女性教室」復興への願いを込めて
くにみ女性教室「研修旅行」が7月13日に実施され、教室生23名が参加しました。今年、震災後風評被害の影響を受けている「福島」への想いと復興への願いを込め、研修先は会津地方と決定。裏磐梯五色沼と会津鶴ヶ城を研修しました。五色沼探勝路では、水面の色が微妙に変化する不思議で神秘的な数々の沼があり、毘沙門沼から柳沼まで次々現れる沼巡りの美しいコースに心ひかれながら、爽やかな木陰の中、一時間ほどかけて散策しました。また、鶴ヶ城では、江戸時代末期の姿を再現した赤瓦の天守閣や茶室を見学しました。そして、鶴ヶ城を見て作詞したという「荒城の月」の歌碑の前で歌うな



鶴ヶ城の前での記念撮影

ど、心癒されるひと時を過ごしました。今回の研修旅行は、会津地方の自然と歴史、文化に触れ、充実したものとなりました。

上手に泳げるようになったよ
7月25日から28日までの4日間、福島スイミングスクールほばらの屋内プールを利用して、「夏休みだよ!短期スイミングスクール」を開催しました。参加した小学1年生から3年生の児童約30名は、泳力に合わせて5クラスに分かれ、インストラクターの指導によりゲームを交えながら手足の動かし方などを練習しました。はじめはバタ足がでなかつた参加者も、最終日には上手に前に



水泳の指導を受ける参加者

進むことができました。今年はプールの中止が相次ぐなか、貴重な体験となりました。



参加者全員による集合写真

7月26日から3日間、南蔵王野営場で、桑折町の中学生と合同でキャンプを行い交流を深めました。キャンプでは、竹の器づくりや科学工作といった創作活動と沢登りや川魚のつかみ取りの体験活動を行いました。また、多くの参加者が初めての体験となった薪で火をおこしての飯ごう炊飯、さばいたイワナの塩焼きなど子どもたちが協力して食事を作る活動も体験することができました。2日目のキャンプファイヤーは、雨のため屋内でキャンドルを囲んで歌やダンス、各班の発表を楽しみました。今回のキャンプに参加した子どもたちは、自然の中で新しい仲間を作り、また夏休みの楽しい思い出を作ることができました。



キャンドルを囲みジェンカを楽しむ

参加者募集

平成23年度
町民講座

一閑張り教室

日本の美しい和紙と竹細工で、渋柿の持つ優れた特性を生かし、素敵な作品を作ってみませんか!

- ◆期 日 9月2日(金)、9日(金)
午前9時30分～12時
- ◆場 所 観月台文化センター 栄養指導室
- ◆対 象 国見町在住または在勤の方 15名程度
- ◆講 師 堀内栄子氏(伊達市在住)
- ◆材料費 2,000円以内(詳しくは後日お知らせします。)
- ◆募 集 8月19日(金)までにお申し込みください。

◆お申込み・お問い合わせ 生涯学習課社会教育係まで

生涯学習 つうしん



国見町教育委員会生涯学習課
(観月台文化センター)
☎(585)2676 FAX(585)2707
E-mail: shogai@town.kunimi.fukushima.jp
http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

行事のお知らせ

- 《9月》
- 1日(休) 阿津賀志学級「交通安全・防災標語募集」13日まで
 - 2日(金) 子ども移動図書館(藤田小3年)
町民講座「一閑張り教室」①
 - 4日(日) 伊達地方スポーツ大会
 - 5日(月) 休館日
 - 7日(水) 子ども移動図書館(小坂小)
 - 8日(木) 子ども移動図書館(森江野小)
 - 9日(金) 町民講座「一閑張り教室」②
 - 11日(日) 沢木順「復興支援コンサート」
 - 13日(火) 子ども移動図書館(藤田小2年)
阿津賀志学級「教養講座」
くにみ女性教室「萬歳山ハイキング」
 - 15日(木) 子ども移動図書館(藤田小1年)
 - 16日(金) 子ども移動図書館(大枝小)
 - 17日(土) 市町村対抗福島県軟式野球大会開会式
 - 18日(日) 三県交流国見町少年柔道大会
家庭の日
 - 23日(金) 第16回 国見町義経まつり
くにみの日「施設無料開放」
 - 26日(月) 子ども移動図書館(大木戸小)
 - 27日(火) 阿津賀志学級
「秋の研修旅行 平泉方面」
 - 29日(木) 中高年のための登山教室①
ブックスタート
 - 30日(金) 成人学級「レクダンス」

「家庭の日」とは?

- 毎月第3日曜日の
「家庭の日」を
こんな1日にしましょう。
- ①家族みんなで話し合う
 - ②家族みんなで楽しみ合う
 - ③家族みんなで協力し合う



くにみもたん

特別シリーズ 震災を乗り越えて

第5回 町の若き選抜選手



ソフトボールで国体出場を目指す
安達健人君（福島東高校3年）

「震災の数日後、今まで見てきた町の建物などが崩れているのを見て、とても悲しくなりました。そういう時こそ、自分をはじめ若い人が部活などで何か頑張っているところを見ることができれば、町のみんなが前に進めると思いました」と震災を通じて感じたことを話してくれたのは、ソフトボール少年男子福島県選抜チームの選手である安達健人君（福島東高3年）。

小学校3年生の時、友達と一緒に始めたソフトボール、その後中学時代の野球を通じて、高校では再びソフトボールに励みました。高校3年生となった今年は、部員数38名を率いる福島東高ソフトボール部のキャプテンとなりました。そして2

年連続福島県選抜チームの選手ともなりました。

キャプテンとして、高校生活最後のシーズンを迎えようとしていた矢先、あの大地震が発生しました。震災により3月中は学校にも行けず部活も中止となってしまい、健人君にとってソフトボールができない日々が続きました。震災で苦労したことを聞くと、「春のシーズンを前に練習試合ができず、チーム力を上げることができなかったのが残念です」とチームを率いるキャプテンらしい答えが返ってきました。また、「自分がソフトボールを続けていられるのは、小学校・中学校の時に指導してくださった方々のおかげです」と感謝の気持ちをも言葉にしてくれました。

感謝の気持ちを忘れない健人君。8月の東北地区予選大会では、福島県代表として持ち前の俊足を発揮して、目標である山口国体出場を勝ち取ることができました。そして、自分が頑張ることで、町のみんなが前に進めると思い頑張ろうとする健人君は、ソフトボールの選抜選手だけでなく、復興へ向かう町の若き選抜選手にふさわしい存在でもあります。

▶観月台文化センター入口の笹飾り



小さな天才たち 大枝小学校



「うさぎ」1年 すずき さち



「絵の具であそぼう」3年 佐藤 穂波



「動物のふしぎな町」4年 船生 美桜



「便利な箱」6年 松浦 奈未姫

あ と が き

1市3町合同による特集記事、いかがでしたか。伊達地方の農業を応援したいという思いが一つになり、今回の特集記事が出来上がりました。この記事を読んだ1人でも多くの人が、伊達地方の農業を応援したいという気持ちになっていただければ幸いです。広報紙は、これからもがんばる皆さんを応援していきます。

(A.S)



この印刷物は、「大豆油インキ」を使用して印刷したものです。



国見町

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字観月台15 国見町観月台文化センター内 国見町役場（仮庁舎）

TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2181 E-mail kikaku@town.kunimi.fukushima.jp URL www.town.kunimi.fukushima.jp/